

HANDS

Kokura Memorial Hospital

66

2016



いつもの暮らしに、いつものあなた
小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号 TEL.093-511-2000(代表) 小倉記念病院

TEL.093-511-2062(医療連携課) FAX.0120-020-027(医療連携課) FAX.093-511-2032(救急室)夜間・休日における救急患者の情報のみ

【表紙】低カリウムレタス

北九州市若松区響町の完全人工光型植物工場で栽培されている「健腎菜」は、カリウム摂取を制限されている腎臓病の方でも生食ができるように、カリウムの含有量を抑えた低カリウムレタスです。当院は腎臓病患者に対する「健腎菜」の有効性調査に協力しています。

腹膜透析患者 238名を管理



慢性腎臓病は「新たな国民病」とも言われている。透析治療を受ける患者は国内で32万人を超えた。

透析療法には大きく分けて血液透析と腹膜透析がある。一般的に透析治療法として広く知られているのは血液透析だ。これは1週間に3回程度通院して、毎回4～5時間程度かけて人工透析を行う療法だ。一方の腹膜透析は、患者自身の体内にある腹膜を利用して血液中の老廃物を取り除く療法だ。自宅で行うことができ、通院は月に数回で済む。持続可能な透析であることから循環動態が安定し、心血管系への負担も少なく、残存腎機能にも良い影響がある。国内では血液透析が主流である。

が、海外では血液透析と腹膜透析の2つが透析療法として広く認識され、症状や生活環境、患者のニーズなどに応じて選択されている。

当院の腎臓内科は腎機能や患者のライフスタイルに応じて、血液透析・腹膜透析・腎移植（九州大学腎移植チームと連携）・透析非導入という4つの方法を提供しているが、透析が必要となった際には腹膜透析からの開始を勧める「PDファースト」ポリシーを掲げている。

2008年よりこの方針を取り、透析導入患者の40～50%は腹膜透析を選択され、2016年11月現在、238名に外来腹膜透析PDを行っている。

PDラストは介護を受ける側もする側も選択肢の幅が広がったのはいいことだと思います。看取りも行いますが、私は亡くなるための医療を提供しているわけではなくて、その方らしい人生を送るために医療に取り組んでいます。亡くなられた後にご家族とお話をさせてもらうと、私の方が救われることも多いですね。



徳力団地診療所 山家滋

記念病院には地域医療の底上げをしてもらって、私たち連携医療機関も非常に助かっています。ケアの質を担保するための勉強会や感染を防ぐための新たな医療機器に関する情報も得られるので、ハード面の向上とソフト面の質を高める取り組みを一方的な指示ではなくて、垣根を超えたコミュニケーションが取れています。

私たちの活動で腹膜透析を導入する前と同じような生活を送ってもらえることが嬉しいです。いつもゲートボールを楽しんでいたご夫婦が地域のコミュニティに戻れたり、旅行に行くことを諦めていたご夫婦の後押しをしたことで、旅行に行ってきた話を聞けたりするすごく嬉しいですね。



北九州市小倉医師会 訪問看護ステーション

記念病院で腹膜透析を導入された患者さんが自宅に帰っても安心して治療が継続できるように、自宅の環境を整えたり退院直後には手技や感染予防を指導して、その後の状況を記念病院と共有しています。連携室やソーシャルさん、退院調整看護師さんとの連携が取れているのでやりやすいです。

デイサービスで腹膜透析患者さんを受け入れている施設は少ないですが、腹膜炎で入院を繰り返していた人が当施設を利用してもらったことで、2年間くらい入院することなく過ごしてもらっていると、やってきた意義があつたのかなと思います。ご家族の方々も気持ちの余裕が生まれて、関係が良好になっている様子を見ることにやりがいを感じます。



アイピー デイサービスセンター

腹膜透析患者さんの受け入れを開始する際に、記念病院の病棟で研修を組んでもらって、うちの看護師が実際の腹膜透析を見る機会を設けてもらいました。記念病院は超急性期病院でデイサービスとの連携って遠いように思いますが、感染なども問題も電話ですぐに相談できるので不安なくサービスを提供できています。

食事に関する学習の場として活用するだけでなく、腹膜透析患者用の昼食を準備し、参加者同士で交流が図れるようにクイズ大会などを実施している。腹膜透析患者が安全に安心してPDライフを送るために、今後もこの取り組みを続けていく。



PDピクニック

当院では、腹膜透析(PD)患者の為に『PDピクニック』と称して患者会を行っている。腹膜透析は家庭ができる透析の為、患者間での交流がありみられず、孤独になりやすいので、患者同志の交流を目的に年1回開催しており、毎回、患者・患者家族を含め50~60人が参加している。

カテーテル埋め込み手術は局所麻酔下で実施することにより、患者への負担、特に心機能に対する影響も少ない。腎臓内科にとっても手技の難易度が低くなり、導入ごとに麻醉科の予約を入れる必要もないため、オペ枠を取ることも容易となっている。最近では局所麻酔の効きが良くない患者に対して、腹横筋膜面ブロックも開始した。



腎臓内科医がシャント造設・カテーテル埋め込み手術を行う

シャントの造設はこれまで腎臓内科医で行っていたが、カテーテル関連手術も行うことで、自信を持ってそれぞれの透析療法を患者に勧めることができる。これにより、適切なタイミングで透析導入を行え、シャントやカテーテルトラブルにもタイムリーに対応。

英国でAssisted PDを学ぶ

当院では医師だけではなく、看護師も海外に出向き最先端の医療に触れる。腎センターで科長を務める野上は、2012年に英国ノースミッドランド大学病院で Assisted PD を学んだ。Assisted PD は訪問看護師ではなく急性期病院の看護師が毎日PD患者の自宅までバッグ交換の支援などに通うシステムだ。



包括的な腎臓病治療体制 ライフスタイルに応じた、

在宅訪問は数時間に及ぶため病棟の人手が少なくなってしまうが、当院では持ち回りで現場に行ける体制を整えており、在宅訪問するための支援も厚い。現場の看護師が中心となって運用するためスタッフのモチベーションも非常に高い。2016年の「退院後訪問指導料」の新設も相まって、在宅訪問の実施がやりやすくなった。

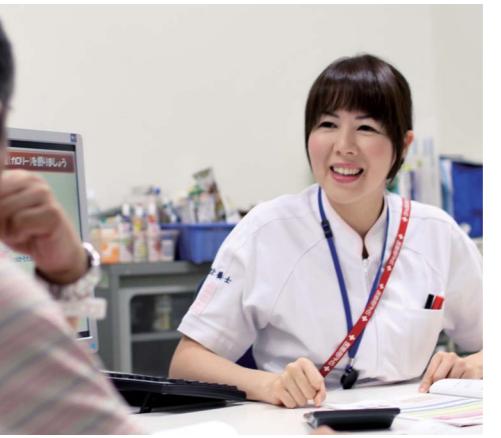


当院では定例のPDカンファにより、腹膜透析患者に処方される退院後の服薬状況や腹膜透析についての理解力の確認など他職種で情報共有を行っている。腹膜透析患者に処方される薬剤は比較的多く、服薬に対する問題点がある場合、患者の身体的状況や生活環境にあわせた服薬援助を行っている。



腎機能低下患者に対する薬剤師の役割

薬剤師は、患者への服薬指導をはじめ、医療スタッフに対しては患者の腎機能に応じた薬剤の投与量や選択など情報提供を行い、薬剤の適正使用を推進している。腹膜透析や血液透析患者だけでなく、腎機能が低下した患者にも毎日の服薬が確実に行えるよう、患者への指導が大切となる。



生活パターンに応じた栄養指導

腎臓病の治療にとって食事療法は大きなウエイトを占める。エネルギー、蛋白質、塩分、カリウム、リンなど個人の状況に応じた食事療法が必要である。近年は家族構成や生活背景が年々変化するなか、料理方法だけでなく、惣菜の選び方、宅配食の利用なども含め個別に対応している。



木村 慎一さん(43歳)

お仕事場にインタビューへ伺った。
職場の方々も気さくで、明るく働いてい
る木村さんを見ていると、腎臓病患者
であることを忘れてしまう。

自分の時間を大切に

6年前に急に足がむくんで息切れがし始めて、知人から「心臓の病気かもしれません、記念病院に行け」と言われて記念病院に受診したらそのまま緊急入院でした。腎臓病だけでなく心臓も先天性の病気が見つかって、先生から「どちらかだけ悪かったら症状が出ていなかつたかもしれません」と言われました。現在は心臓の治療も終わって、自宅で腹膜透析を行っています。

血液透析か腹膜透析かの選択は、記念病院の先生から勧められて腹膜透析を選びました。実際にやってみて、腹膜透析を選んで良かったなと思います。自分のライフスタイルにも合っているし、もともと旅行が趣味で、病気になる前よりも「いま行っておかない」とと思って旅行に行くことも増えました。準備は大変ですけどね。今後は以前趣味だったカーレースも復活させたいですね。自家用車でサークットも走つてましたよ。古い車が好きで、空冷ポルシェ

に乗つてましたから。だから、記念病院に緊急入院した時に車だけは自宅に持つて帰させてくれって頼んだんです。あの車は自分しか動かせないって。必ず戻ってくるからって。でも当時の先生には「何を言つてゐですか?」みたいな顔をされましたね(笑)。

病気になつてから、弟には本当に世話になつます。弟はトラックの運転手をしていて全国各地を走つてゐるんですが、今も透析する時には連絡するようになっています。「もし定期に連絡がなかつたら、救急車を呼ぶからな。」と言わわれてますから。先生からは腎移植を勧められていて、そうなると弟から移植を受けるんですが、弟も「兄ちゃん気にせんでよか。」って言ってくれてるけど、やっぱり弟の体を傷つけたくないですね。自分が頑張れる所までは自分で頑張つてみようかと思つてます。昔から仲が良かった大切な弟なんで。

腎臓内科のプロフェッショナル

腎臓内科に受診した2015年度の患者数は、外来患者14,221名・入院患者13,912名・血液透析101例・腹膜透析85例にのぼり、これに加え血液透析シャント拡張術PTA282例・血液透析・腹膜透析関連アクセス手術494例を行っている。この症例数を支えているのが、8名の腎臓内科医だ。

腎臓内科
三浦 朗子



日本内科学会 認定医

日本腎臓学会

日本透析医学会

腎臓内科
桑原 郁子



日本内科学会 認定医

日本腎臓学会

日本透析医学会

腎臓内科
倉橋 基祥



日本内科学会

日本腎臓学会

日本透析医学会

腎臓内科
湯淺 美紗子

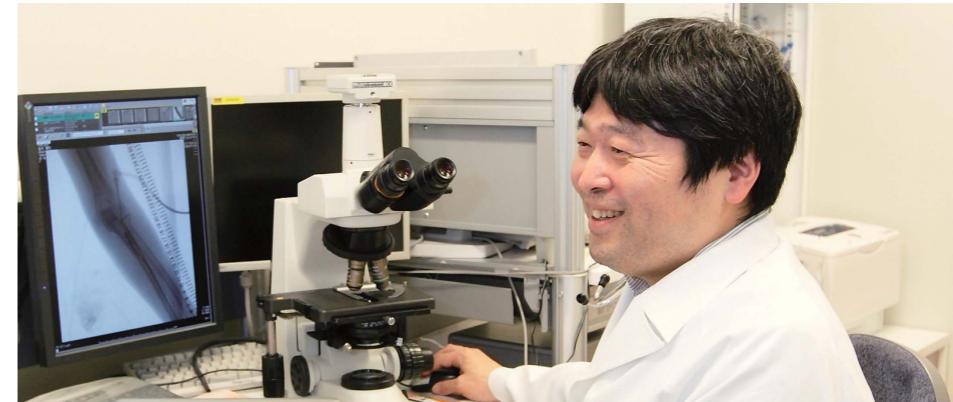


日本内科学会

日本腎臓学会

日本透析医学会

副院長 腎臓内科部長
金井 英俊



日本内科学会 総合内科専門医
日本腎臓内科 認定医 専門医
日本透析医学会
指導医 専門医 評議員
日本腹膜透析医学会 評議員
欧州腎臓学会
アメリカ腎臓学会
国際腎臓学会

腎臓内科 副部長
福岡 晃輔



日本内科学会 専門医
日本腎臓学会 専門医
日本透析医学会 専門医
日本糖尿病学会

腎臓内科 医長
原田 健司



日本内科学会 認定医
日本腎臓学会 専門医
日本透析医学会

腎臓内科
古閑 和生



日本内科学会 認定医
日本腎臓学会
日本透析医学会
日本リウマチ学会



必要な栄養を
摂りながら、
腎臓に負担をかけない。

低カリウムレタスを 求めて

副院長 腎臓内科部長 金井 英俊

重要なものであり、食事という楽しみを持つことが生き甲斐となる。食事ができなくなるだけで生活の楽しみも減り、生きる意欲さえ失ってしまい可能性もある。

この課題に取り組んでいるのが、エスジーグリーンハウス株式会社とメディカルドライブーズ株式会社だ。「生野菜を美味しく食べたい」という腎臓病患者の願いをかなえるために、カリウム含有量を約87%カットした低カリウムレタス「健腎菜」を栽培している。

この「健腎菜」を栽培するために、九州で初めて秋田県立大学の特許とパナソニック株式会社が保有する低カリウムレタス栽培技術を活用した人工光型植物工場システム水耕栽培を北九州市若松区響町で行っている。農薬を必要としない密閉型のクリーンルームで栽培するため、洗わずにそのまま食べられ、冷蔵保存で2週間程度は鮮度が保たれる低カリウムレタスだ。

当院では腎臓病患者に対する「健腎菜」の有効性調査について協力している。私たちの役目は医療を通して健康や命を守ること。ただその中には、地域に暮らす人々が「いつもの暮らし」を送れるように、地域と一緒にとなつて課題に取り組むことも含まれているのではないだろうか。

しかし、「食べる」という行為は、人間のあらゆる機能維持に必要なこと。高齢者にとっても、それはとても

1,500mg以下にするなどの制限が必要となる。これを守るために、食事療法を行う腎臓病患者はカリウムを豊富に含む野菜を生で食べたり、果物を食べたりすることが出来ない。

しかし、「食べる」という行為は、人間のあらゆる機能維持に必要なことを。高齢者にとっても、それはとても